

新ハード+新ソフト+♥(浅草心意気)

ノスタルジア・モダン (温故知新)

一声隊 (ひとこえたい)

浅草新仲見世商店街



新仲 一声隊 発足出陣 風景

浅草新仲見世商店街は、浅草の中心部をアーケードで東西に結ぶ、延長三八〇メートル約一〇〇店舗で構成され、商店街特徴は「新旧の和合」による職種の多さで、新しい発見と忘れかけていた懐かしさを再発見出来る「場」となっている。また、普段着で気軽に散策やショッピングを楽しめる浅草の「粋」と「下町の心意気」に触れられる商店街でもある。立地的には、浅草松屋と公園六区の賑街を結ぶ商店街であり、その間に、仲見世、ちん横(現・中央通り)、オレンジ通り、公園通りを、それぞれ横切る一部二部、三部、四部、五部の各部に分れている。交通の要所である新仲一部(東側玄関)には、東武線、銀座線、浅草線、都バス、隅田川水上バスの駅があり、浅草の娯楽街である新仲五部(西側玄関)には、落語・漫才の演芸場や映画館等がならぶ六区商店街に隣接している。

年間三千万人も人が訪れる日本を代表する歴史・観光のまち「浅草」の東西を結ぶ浅草最大のショッピングモールが新仲見世商店街振興組合、通称「しんなか」である。

その浅草新仲見世商店街は、老朽化したアーケードのリニューアルが進んでいた。改修当時の新仲見世商店街振興組合の理事長を務める岩崎隆氏を会長として「新仲見世商店街振興組合まちづくり委員会」が組織され「しんなか」のアーケードが一新することとなったのである。旧アーケード解体費用については東京



アーケード内から眺められる東京スカイツリー

である。目にも気持ちよく、耳にも快い現代風江戸っ子弁で「元氣・気安さ・親しみやすさ」を商店街に訪れる人々に感じさせる日常会話がアーケード内を巡る。

「いいな、新仲！」と訪問者が思わず口ずさんでしまう雰囲気づくりである。幾たびかテストを重ね理事会の承認を頂き、アーケード完成前からスタートを切ることとなった「新仲 一声隊」。

誕生の日は二〇一〇年二月四日であった。「誕生後も運営方法や展開方法のアイデアが多数寄せられ、商店街を歩く観光客や買い物客と会話をしたり、『新仲MAP』や『新仲アイッシュ』を配ったり、道案内、道路掃除等など、多岐にわたるサービスが自然発生的に生まれ始めました。

また、今まで同じ商店街内でも交流が少なかったお店同士が一声隊活動が縁で、



一声隊の活動 風景

2009.11.16

今、有る資産を生かし、今、求める資産を創る

新仲一声(ひとこえ)隊

新仲見世商店街振興会：将来構想部

■目的：新仲から始める「現代・江戸風情」の発信(商店街内の江戸情緒 BGM 創造)

■方法
 当番で新仲見世商店街内店舗に声をかけて回る(1グループ2~3名)
 1日2回(午後と夕方：時間は各グループにて空き時間で調整・所要時間 1回、各約30分)
 ・昼「こんにちは! ○○ちゃん。どうを?」...その後、会話。
 ・夕「お疲れ! ○○ちゃん。今日、良かった?」...その後、会話。

ルールは5つ
 1: 出来るコトをムリせずに、単純に日常性の延長で!
 2: 人名は、○○ちゃん
 店名は、△△さん
 3: 声かけ店はオープン店のみ
 4: 絆纏の着用
 5: 明るく元気で、漲る活気!

■オプション(案)
 お使い帳：商店街のマップのコピー帳で、その日に声をかけたお店を記す
 ゴミ処理場所、訪問者と会話・記念写真等コミュニケーション場所等記載
 (朱色の筆ペン：○訪問店、△ゴミ関連、×コンタクト場所等)
 口コミネタ：新仲見世のレトロ写真のポストカードをポケットに忍ばせる
 非売品でその日の「新仲今日の美人一番」「新仲○○一番」を認定して
 訪問客にプレゼント(その日のリーダーの独断と信見で実施)

＜一言江戸情緒＞
 ・高橋：粋
 ・魚屋：いなせ
 ・新仲見世：活き

※1: 目にも気持ちよく、耳にも快い現代風江戸っ子弁で「元氣・気安さ・親しみやすさ」を商店街に訪れる人々に感じさせる。「いいな〜、新仲!」と訪問者が思わず口ずさんでしまう雰囲気づくり。



都の特定施策推進型商店街事業の資金助成を、建て替え費用については国の中小商業活力向上事業および区の街並み環境整備支援事業の資金助成を、それぞれ得ての着工であった。

新アーケードの特徴は、長い商店街通りおよび浅草全体の回遊性向上に工夫を凝らしている点である。

東西入り口二カ所には「新」のシンボル文字を掲げたメインゲートを設置して外部から商店街へと来街者を誘導する。また他商店街とクロスする二カ所には扇をモチーフとしたサブゲートで統一イメージを演出、新仲見世通りとしての連続性を確保し、さらに細街路とクロスする三カ所の天井には、アクセント的に円形ドームを設置。夜にはドームの照明が、

親しく情報交換が出来ました。そして、世代間を超えたコミュニケーションの輪と和が広がりました。このことは商店街活動における基礎環境の好転であり、大きな成果と考えております。」と、新仲一声隊、隊長の染谷孝雄理事は、一声隊活動が商店街内で間接的ではあるが大きな成果を与えていることを語ってくれた。

その後、無事に浅草新仲見世商店街アーケードも完成、アーケード内から眺める東京スカイツリーも格別である。現在は商店街リーダー塾の第二・三期生が、新一声隊メンバーとして加わり、更なる浅草流ノスタルジア・モダン(温故知新)を展開中である。

本年六月に浅草新仲見世商店街理事会役員も改選され、新理事長・稲葉雅通氏を中心に新たな組織が構築された。

一声隊活動は、理事会の直轄組織とし



新仲 一声隊 中心メンバー一同

■商店街情報

浅草新仲見世商店街振興組合
 〒111-0032
 東京都台東区浅草1丁目39-2
 電話 03-3844-5400
 連絡先
 URL <http://www.asakusa-shinnaka.com/>
 加盟店舗数 108 店舗
 活用施策 商店街リーダー塾
 +
 パワーアップ作戦



ての「新まちづくり委員会」内の業務として確立された。浅草の newName と共に、新たな「浅草心意気」が、生まれ、受け継がれ、新たな伝統として進化し、それぞれが伝説となっていくのである。

「今回のハード事業のコンセプトはノスタルジア・モダン(温故知新)です。また、ハード面での快適な買い物空間だけではなく、ソフト面でも伝統文化に触れる『場』を提供することが商店街の使命です。」と岩崎隆理事長は熱く語ったのである。ソフト面、その言葉を具体化させたのが「新仲一声(ひとこえ)隊」の発足であった。浅草の下町江戸っ子気質といえは「粋でいなせ」というが、コレは江戸っ子として長年、年齢と経験を重ねた先輩方からじみ出るモノである。そこで、新仲見世商店街の若手で構成する将来構想部